

久野松義議員

市民病院について

問 市民・患者・職員に不安や悩みを与えないで。

答 市民病院がよい病院になるようにとの思いで発言をしていることも御理解いただきたいが、いろいろな方々に不安を与えないよう気配りをした発言を心がきたい。

私自身、これまで以上に市民病院に足を運び、職員とのコミュニケーションを



市民病院

図っていききたい。

問 現在の病院の現実に目を向けて対処・対応することが大事ではないでしょうか。

答 現在の病院で一番必要なことは、医師の確保に向けて全力で取り組むこと。また、外部委託等による人件費の削減や材料費や施設改修費の抑制、接遇の向上等にも取り組む。それから、現在、実施中の経営診断で、新たな課題が出てくると思う。それについても、適切に対応したい。

問 経営が下降線。原因を具体的に列挙してください。

答 最大の理由は医師不足による患者数の減少であるが、施設・設備の老朽化、診療報酬改定、介護保険制度の充実による社会的入院の減少等も起因する。

高木清隆議員

治水対策

問 袋井駅南地区総合治水対策への具体的な取り組みについて

答 流域内での遊水地の設置とポンプ排水を効率的に組み合わせた治水対策を検討している。また、遊水地等の構造は、自然流下方式を基本に検討したい。



中学生の職場体験（袋井南中学校）

問 画一化・共通化教育である一斉指導の問題点をどうとらえ、少人数指導にどう生かしていくのか。

答 一斉指導は、生徒一人一人の能力や適正に応じた指導が難しい。各学校では、少人数指導を取り入れ、生徒の習熟度、子供たちの習熟の度合いや興味、関心に応じた学習を進めている。

問 キャリア教育への取り組みにおける成果と今後の課題について

答 職場体験を通して、働く楽しさや厳しさ、社会人としてのマナーの大切さなどを実感したり、進路に対する意識を高めている。受け入れる各事業所等は、相応の負担となるので、キャリア教育への理解と協力を求め、受け入れ先を確保することが課題である。